

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 44
ID 115501

【施設状況】

グループ名称	児童館、児童センター								
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会福祉協議会				法人番号	9100005001693			
所管課	主	115500	こども政策課	副					
構成施設	3305	児童館、児童センター							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	児童センター 32館、児童館 7館 ※各館概要 主に集会室、図書館、プレイルーム、事務室、倉庫、湯沸室他								
施設設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすること。								
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、設置目的を踏まえながら、子ども達が安心して遊べる拠点とするとともに、地域の施設として地域に根ざした施設となることを目指す。								
主な実施事業	施設の運営(運営委員会の設置、職員の配置・研修、自主事業の実施、地域との連携)、施設の維持管理(建築物の保守管理、建築設備保守業務、清掃業務)								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> 協定、計画の一部が予定どおり実施されない 管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> 協定、計画が全て実施されない 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会福祉協議会			指定回数	4 回	
指定期間	平成27年4月1日	～	平成32年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	事業計画に沿った管理運営が行われている。財務状況、組織体制なども、提案時の状況を維持している。本事業の他、本市の多くの福祉事業を受託し実施している実績がある。				

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		児童館・児童センター	人	656,153	653,184	626,135	667,183	107%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 指定児童館の利用に関する業務 指定児童館の施設及び設備の維持管理に関する業務 施設、付属設備及び物品の維持管理に関する業務 放課後子ども総合プラン事業の円滑な実施に必要なかつ適切な措置に関する業務 			受入れ児童の拡大を実施				
	自主事業	各館において運営計画を基本に随時実施							
サービス維持・向上の取組み(広報等)		各館において「館便り」を発行し、利用する家庭に配布を行い、行事の報告や活動予定など広報に努めている。							

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
		(2) 調査、会議等の内容	児童の送迎時などを利用して、保護者から意見・要望を聞く体制をとっているほか、事務局においても(平日8:30~17:15)保護者等から意見・要望を随時受け付けている。	
(3) 調査、会議等の結果	職員からの報告、利用者からは、直接意見・要望を受けており、速やかな対応ができています。			
利用者評価	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子どもを預け、安心して仕事ができる。 仕事をしているので、延長していただくと助かる。 子どもも喜んで通っているので安心している。 	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> 支援員等の対応が良くない。 施設が狭い、駐車場が狭いので広くしてほしい。 開館時間を更に延長してほしい。 児童館・児童センターにおいて、お迎えまでの間に宿題を済ませるようにしてほしい。 	
		<<対応措置>> ・苦情などの対応については事実確認をし、事務局の指導主事が施設を訪問して施設職員に指導を行っている。必要があれば、該当する施設職員に事務局に来てもらい、指導を行っている。また、定期的に施設職員の資質・能力向上を図るため、研修会を実施している。 ・開館時間の延長については、各地域のニーズを考慮し、実施している。 ・児童館・児童センターは、放課後などの児童の安全・安心な遊びや生活の場。施設により実施回数・内容は異なるが、アドバイザーによる学習支援等も実施している。		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	120,558,000	指定管理料	120,558,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			その他		その他	
	その他収入		その他収入						
	計	120,558,000	計	120,558,000	計	0	計	0	
人件費	人件費	96,508,000	人件費	92,369,454	指定管理料	120,558,000	指定管理料	119,284,000	3
	設備管理費		設備管理費	0		委託料		委託料	
備品購入費	4,605,000	備品購入費	4,440,570	需用費		需用費			
修繕費	2,755,000	修繕費	3,023,098	役務費		役務費			
光熱水費	6,660,000	光熱水費	5,520,697	使用料・賃借料		使用料・賃借料			
事業費	719,000	事業費	496,671	修繕費		修繕費			
事務経費	8,652,000	事務経費	5,973,153	工事請負費		工事請負費			
本社経費	0	本社経費		備品購入費		備品購入費			
その他	659,000	その他	303,428	その他		その他			
	計	120,558,000	計	112,127,071	計	120,558,000	計	119,284,000	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		8,430,929	差引	-120,558,000		-119,284,000	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成27年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								82.4%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	館長 39名 (39)		
	支援員 39名 (39)		
	事務局嘱託職員 2名 (2)		
	他 補助員等		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか			
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・地区（住民自治協議会）の推薦により運営委員会を組織し、運営委員会の内申により、地域事情に通じた人員の配置を行っている。 ・運営委員会、館長・施設長会等を通じて、地域、施設間の連携を維持し、学校側とは連絡会などを開催し、情報の共有と連携を図っている。 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	4	8	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>地域の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p> <p>62</p>
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書、基本協定及び事業計画書に沿った管理運営や事業が行われている。 ・指定管理者の安定性の点で、長野市社会福祉協議会は、財政基盤も安定しており、施設の管理・運営も指定管理料の範囲内で実施している。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規開設及び障害児加配等に必要の職員の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和子どもプラザの開設に当たっては、職員募集、研修等主体的に取り組んだ。 ・障がい児加配等に必要の職員の確保は、困難な状況が続いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者からは、職員の処遇改善が求められている。

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)
<ul style="list-style-type: none"> ・受入児童拡大等に伴う職員の確保。

指定管理者自己評価

C

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・対象児童が登録を希望する家庭に拡大していく中、現状の施設規模や活動拠点の配置では安全な受入れに限度があるが、工夫を凝らし待機児童とならないよう受入れに努めた。
- ・延長開館時間の時間設定については、地域によりニーズが異なるため、利用者のニーズを考慮し、運営委員会において延長方針の見直しを図った。
- ・2回の館長施設長研修、5回の支援員研修を実施して職員の人材育成を図った。
- ・全施設へ訪問し、現場での仕事の実態を聞き、接遇をはじめとした指導を行った。
- ・受入児童の受入拡大などにより、発達障害の児童数が増加している中、発達障害を持つ児童への指導、職員への助言及び対処方法等の巡回指導を実施した。施設から巡回指導の要望が多い場合は、長野県障害児療養等支援事業を営む「森と木」の訪問指導（無料）を活用した。また、必要に応じて補助員を配置して該当児童への適切な対応に努めた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・同一校区に児童館・児童センターと子どもプラザがあり、利用児童が少数になると予想される場合には、施設の状況に応じて可能な限り、共同実施できるよう取り組んだ。

③ その他

- ・施設の設備及び器具類等の老朽化が進み、修繕要望が増えている中、限られた予算の中で安全を優先に適切な対応ができた。
- ・夏の期間において、30度を超える日が多い状況をふまえ、きめ細かな熱中症対策を行うよう指導した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・施設の老朽化や受入体制に限度があるため、利用児童が安全に時間を過ごせる居室の確保が課題である。
- ・発達障害児童の登録数が増えている、多い施設で4名の登録児童がいる現状から、ハード面では個室の確保、ソフト面では資格を持った特別支援員の配置などの検討が必要である。また、これからも特別支援児童が増えていくと考えた場合、「安全・安心」の確保を継続していくには、現状での指定管理業務の枠の中では限界がある。
- ・各施設への通知・連絡事務など紙ベースで連絡便配送により行っているが、速やかに効率の良い事務処理ができていないため、事務処理の電子化を進めるとともに職員の情報管理についての認識を深める必要がある。
- ・職員の確保について、ハローワークを通じて募集をし、地域では回覧等を行い職員の確保に努めているが、短時間の勤務条件のため、適切な職員の確保が難しい。
- ・児童館・センターと子どもプラザを含めた職員数は、約800名を超えており、その労務管理の負担は大きな課題となっている。なお、社協の監査報告で「職員数や利用児童数から人事管理や安全安心などの面で組織の肥大化が懸念される。」との指摘を受けている。

(3) 次年度以降の取組み

放課後子ども総合プランが有意義に機能するように、登録を希望する家庭の児童の受入拡大をはじめ年間の開館日数、延長開館時間の設定など保護者のニーズを把握するとともに、事務効率を上げるために事務処理の電子化を検討し、適切な職員の確保と配置を図り、子どもを安全・安心に預けられる場所の提供に努める。また、その結果、保護者が安心して仕事ができる生活環境を整えられる、地域に見合ったサービスとなるよう向上に努める。

【指定管理者自己評価基準】

A: 計画や目標を上回る、B: 計画や目標をやや上回る、C: 計画や目標どおり、D: 計画や目標をやや下回る、E: 計画や目標を下回る